

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	16 東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延床面積 3,937.96㎡のうち3,363.41㎡ SCR造 地上7階地下2階 相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般浴）など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。 [自主事業] 空床利用ショートステイ
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 38名 (内 訳) 施設長(1) 事務員(2) 相談員(1) 介護職員(常勤16 非常勤5 派遣5) 看護職員(常勤4) 介護支援専門員(1) 栄養士(1) 機能訓練指導員(非常勤2) (前年増減) 1名増(介護職員:常勤5名減、非常勤1名増、派遣5名増)

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料(指定管理料)	62,031,000	62,031,000	65,775,980	65,775,980
	利用料金収入	221,182,000	238,265,965	229,547,000	221,801,794
	その他収入(退職給付引当資産取崩収入)	1,063,000	63,091,344	1,167,020	6,722,271
	計	284,276,000	363,388,309	296,490,000	294,300,045
支出	人件費	193,491,000	202,945,748	186,878,000	199,160,427
	光熱水費	22,356,000	22,710,840	21,782,000	20,992,749
	維持管理費(委託料・賃借料)	35,307,000	40,361,414	42,059,000	41,099,611
	修繕費	2,000,000	2,184,127	2,000,000	1,294,577
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(退職給付引当資産支出)	31,122,000	99,111,120	43,771,000	47,542,529
計	284,276,000	367,313,249	296,490,000	310,089,893	
収支			-3,924,940		-15,789,848

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
入所定員	人	50	50	50	50

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率	%	93.2	95.4	96.1	92.4
利用者数	人	17,000	17,411	17,578	16,864

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
節電に取り組み、光熱水費を削減を図った。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を順守し、区への報告書等も適切に期限内に提出している。防災委員会・防災訓練を毎月実施し、災害に備えて備品の整備・備蓄をしている。緊急時は区と連絡調整・協議するなど、危機管理対応に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	法令に基づく配置基準以上の人員・有資格者を配置している。施設内クラスター発生は不可抗力だが、入所率は92.4%と目標を下回った。空床型ショートステイの受け入れ制限やオンライン面会等、新型コロナウイルス感染防止対策を引き続き行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施。昨年度から新型コロナウイルス感染防止対策が加わり、消毒・湿度管理・訪問者への感染予防対策協力依頼など、より徹底した衛生管理を行っている。全職員対象に感染予防対策の勉強会を6回実施した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	入所者と家族を対象に満足度調査を実施し、新型コロナウイルス感染防止対策による制限の中、オンライン面会や日々の配慮が評価され、利用者に寄り添ったサービスを提供した。また、看取りに積極的に取り組み、入所者が尊厳ある最期を迎えられるよう努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
13 / 20 点	新型コロナウイルス感染症陽性者発生に伴う、新規入退所中止及び空床型ショートステイ休止により収入減となった。また、コロナ禍で常勤職員の採用が困難となり派遣で補ったため、人件費が予算を上回りマイナス収支となった。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (91 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>事業計画や収支予算に基づき適切に事業が執行され、配置基準以上の人員・有資格者を配置している。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、衛生管理やオンライン面会等、コロナ禍でも利用者に寄り添った管理運営に努めている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>光熱水費や修繕費は昨年度より削減されているが、新型コロナウイルス感染症陽性者発生に伴う減収が、マイナス収支の最大の要因となった。新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に留め、より一層の効率的運営を行うことが必要である。</p>